

施策番号	335	施策名	文化財と伝統行事の継承	令和4年度主管課名	生涯学習課
総合計画 体系	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	令和4年度課長名	小原 克則
	関係課名			シート作成者	日下 隆春

1. 施策の対象と意図の指標

① 施策の対象(誰、何が対象か)		③ 対象指標(対象の数・規模)		単位	区分	2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
ア	町内の文化財・伝統文化	→	ア	指定文化財数	件	見込値		166	166	166	
						実績値	165	165	164		
イ	町民	→	イ	人口	人	見込値		11,800	11,627	11,280	
						実績値	12,625	12,497	12,358		
ウ		→	ウ			見込値					
						実績値					
② 施策の意図(対象をどうしたいのか)		④ 成果指標(意図の達成度)		単位	区分	2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
ア	適切に保存、管理し、後世に継承する	→	ア	保存・継承されている文化財の数	件	目標値	166	166	166	166	166
						実績値	165	165	164		
						達成率	99.4%	99.4%	98.8%	98.8%	98.8%
イ	伝統文化に親しんでもらう	→	イ	伝統行事や文化活動に参加している町民の割合	%	目標値	55.0	49.0	49.5	50.0	51.0
						実績値	49.3	41.3	43.3		
						達成率	89.6%	84.3%	87.5%	86.6%	84.9%
ウ	文化等を後世に伝承すべきと思っている町民の割合	→	ウ	文化等を後世に伝承すべきと思っている町民の割合	%	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
						実績値	92.9	91.7	92.5		
						達成率	97.8%	96.5%	97.4%	97.4%	97.4%
エ		→	エ			目標値					
						実績値					
						達成率					
⑤ 成果指標設定の考え方		歴史的財産を大切に保存・継承し、同時にそれが過去から現在、未来へとつなぐ重要な町の財産と理解することができる町民を増やすことが大切であり、日頃から伝統行事や伝統文化に親しんでいる町民の割合と文化財を大切にしたいと考えている町民の割合を成果指標とした。				⑥ 成果指標の把握方法と算定式等		町民アンケート			

2. 施策の役割分担

施策成果向上に向けた住民と行政との役割分担	① 住民の役割 (自助・共助・協働でやるべきこと)	② 行政の役割 (町・都道府県・国がやるべきこと)
	<ul style="list-style-type: none"> ・町民は、文化財、伝統芸能や伝統行事に関心を持ち、地域の行事に積極的に参加するよう努める。 ・地域は、地域の伝統芸能や伝統行事の保存継承に取り組む。 ・町民・地域・団体は、文化財の保護・保全に協力する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財、伝統芸能や伝統行事に関心を持てるよう、意欲高揚を図る。 ・地域文化の継承のため、地域が行う保存活動への支援を行う。 ・文化財の適正な保存を図るため、所有者・管理者が行う保存活動に対して支援を行う。

3. 評価結果

4年度 の 評価結果	1. 施策の成果水準とその背景・要因	
	① 施策の目標達成度(目標値を達成したか、未達成か? その要因は?)	
	<p>コロナ禍の影響で地域の伝統行事が休止になったことはやむを得ないが、コロナ規制も緩和されつつあり、地域の歴史を学ぶ公民館・博物館講座や講演会などが徐々に再開され、学習機会を提供することができた。</p>	<input type="checkbox"/> 目標値を上回る <input type="checkbox"/> 目標値どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を下回る
	② 成果指標の時系列比較(成果は向上したか? 低下したか? 要因は?)	
	<p>指定文化財の件数は令和3年度末現在で、国・県・町指定を合わせて164件である。日頃から地域文化に触れている町民の割合は決して高くはないが、文化財や伝統文化を大切にしなければならないという町民の意識は高い。この背景としては、公民館講座などでふるさとの歴史を学ぶ講座の開催や、広報巻末の連載記事などの影響が考えられる。実績値は例年と比較してもさほど変化はないが、町の歴史や文化財に関する問い合わせや所蔵する資料の寄贈の依頼なども年々増加しており、住民の関心は向上しつつあることが感じられる。</p>	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない <input type="checkbox"/> 低下した
	③ 他団体との比較(近隣市町、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか、低いのか、その背景・要因は?)	
	<p>行政が指定した文化財数は近隣市町村との比較ではかなり多く、県下でも上位に入る。合併時に4町村の指定を継続したこと、町域面積が広い文化財の分布範囲が多岐にわたっており、他の地域に比べて指定に見合う文化財が豊かといえる。その反面、文化財を観光や地域づくりの素材として活用していくという意識は近隣自治体と比較すれば低く、これが文化財保護意識は高くても、伝統行事や保護活動の参加率の向上につながっていない原因の一つであると思われる。</p>	<input type="checkbox"/> 高い水準 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準 <input type="checkbox"/> 低い水準
	2. 施策を取り巻く環境変化(対象の変化、国県の動向、法改正等)と住民からの意見・要望など	
	<p>コロナ禍のため、ここ数年地域の伝統行事が相次いで中止となり、これをきっかけに行事の衰退が懸念されるため、町では令和3年度に「鏡野町無形文化財保存継承事業費補助金交付要綱」を定めた。他の指定文化財については、所有者の高齢化や転出などに伴い、維持管理が困難なものも出始めており、これらを今後地域や行政がどのように保護していくかが課題となってくるであろう。オオサンショウウオの保護活動については、地域住民にも徐々に理解・協力を得られており、成果が向上しつつある。</p>	
	3. 施策の振り返りと総括(4年度の事務事業や取組の成果は? うまくいかなかった取組・問題点と原因は?)	
① 施策の成果向上につながった主な事務事業	郷土博物館経常管理費	
② 施策の成果向上のため改善を要する主な事務事業	鏡野町郷土館経常管理費	
③ 施策全体の振り返りと総括		
<p>未整理の博物館資料は少しずつではあるが、整理が進み、令和4年度は新資料を展示するための整備を行ったため、今後の博物館来館者増が見込める。オオサンショウウオの保護活動については事業実施から5年目を迎え、順調に実施できている。文化伝習館については、老朽化した現在の建物に代わる収蔵施設の計画が進んでいる。郷土館は近年来館者も少なくなっているが、施設の老朽化と宣伝不足が原因と思われる。</p>		
4. 施策の今後の課題と改革改善の方向(今後、新たに取り組むべきこと、さらに力をいれる必要があることは?)		
① 今後施策の成果向上につなげる主な事務事業	無形文化財補助金	
② 施策全体の今後の課題と改革改善の方向		
<p>伝統行事はコロナ禍による中止に加え、過疎・高齢化により行事の実施が困難になりつつある。未指定の伝統行事についても何らかの対策を検討する必要があるかもしれない。オオサンショウウオの保護活動については、これまでの事業内容を見直し、国・県とも協議をしながら方向性を再設定することが今後の課題となる。また、旧郷土資料館と文化伝習館の撤去に向け、収蔵資料の選定を行わなければならない。</p>		